
東遊園地再整備基本構想

平成29年3月

神戸市



はじめに

近年の都心活性化・三宮再整備の動きの中で、東遊園地は回遊性向上の拠点として、さらなる日常的なにぎわいや利活用の創出が期待されています。

平成27年度には広場の一部での芝生の生育実験や活用のあり方を探るイベントプログラムの社会実験を実施し、芝生広場への高い期待や、カフェや新たな普段使いできるイベントプログラムにニーズがあり、新たな使用者層の掘り起こしや交流が生まれることが認識されました。

平成28年度は「芝生化実験の全面展開」「にぎわい創出事業企画運営・調査業務（ソフト面の検討）」と併せて「東遊園地再整備検討委員会」を実施し、にぎわいを創出する使い方や、マネジメントの方向性を明らかにし、それを実現させるための再整備プランの検討を行いました。

本報告書は、これらの取り組みから得られた方向性を東遊園地の再整備につなげていくために、「基本構想」として取りまとめたものです。

平成29年3月



※地図引用：google マップ

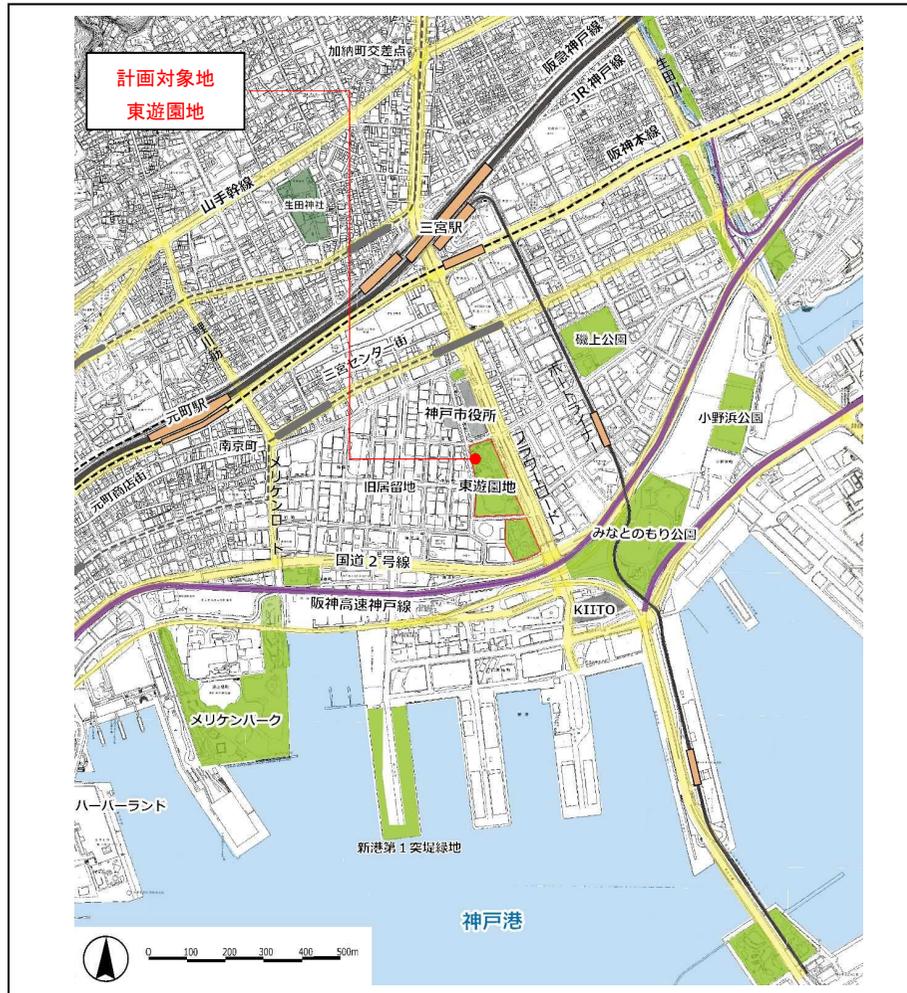
目次

1. 構想策定の流れ.....	1
2. 構想の背景 — 東遊園地の再整備の必要性.....	2
3. 条件整理	3
4. 東遊園地の歴史.....	6
5. 公園の整備履歴.....	7
6. 周辺事業との連携	8
7. 社会実験の結果.....	10
8. 東遊園地再整備検討委員会のまとめ	11
9. 将来像・目標の設定	12
10. 利用シーンとターゲットのイメージ想定	13
11. アクティビティの想定 — 東遊園地の季節軸・時間軸	14
12. モザイク状の空間の評価	16
13. 6つのブロックの方向性	18

1. 構想策定の流れ

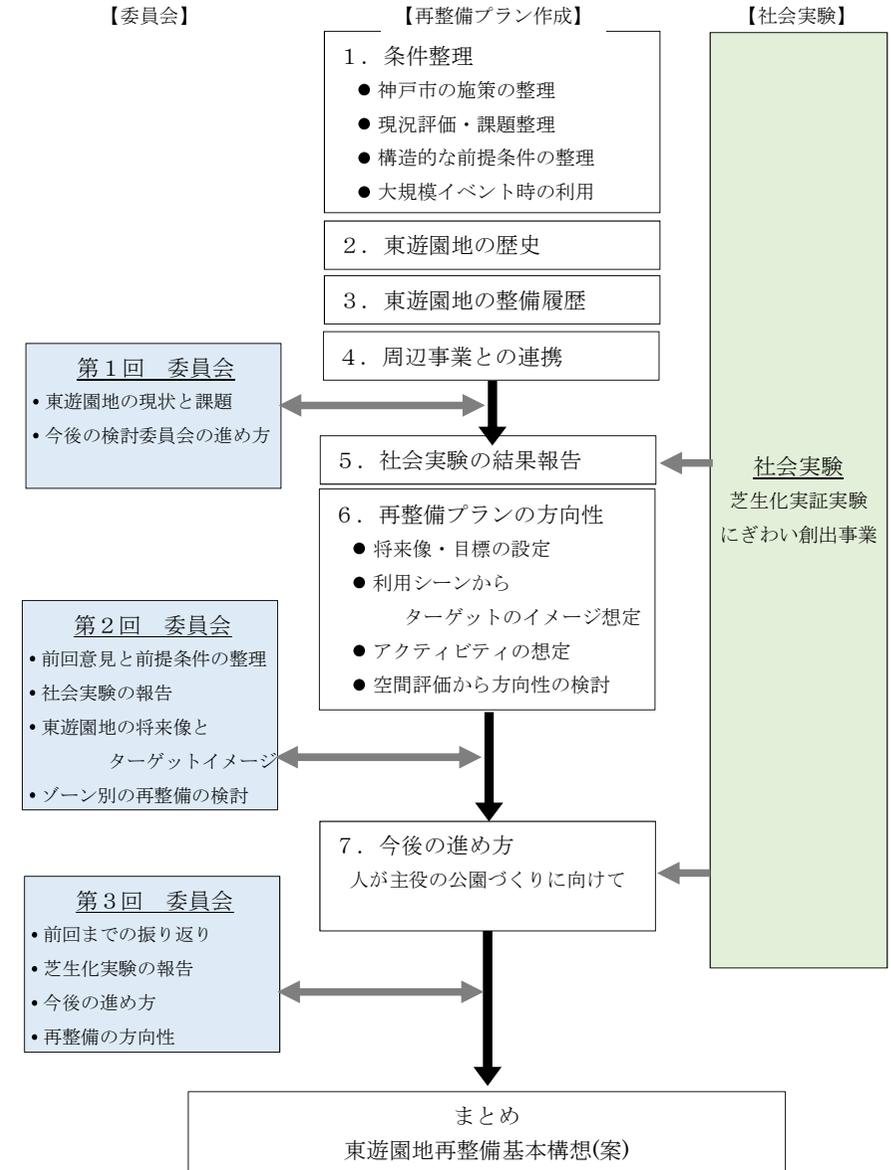
■東遊園地の位置・規模等

名称	東遊園地		
所在地	神戸市中央区加納町6丁目		
公園種別	地区公園	規模	約2.7ha
開設年	1875（明治8） 「内外人遊園地」として開設		
立地	<ul style="list-style-type: none"> 東遊園地は、三宮駅(JR三ノ宮駅、阪急神戸三宮駅、阪神神戸三宮駅、地下鉄三宮駅・花時計前駅)の南側、フラワーロードの西側、神戸市役所1号館の南側に位置する。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 国有地盤 国登録記念物（名勝地関係） 		



■構想策定に向けたフロー

社会実験（「芝生化実験の全面展開」、「にぎわい創出事業」）と併せて「東遊園地再整備検討委員会」を実施し、再整備プランの検討を行う。



2. 構想の背景 —東遊園地の再整備の必要性—

(1) 施策の中での位置づけ

—神戸が新たなステージに踏み出していくための様々な計画の中での要請—

① 神戸2020ビジョン(平成 28 年 3 月)

- ・「新・神戸市基本構想」、「神戸づくりの指針」を実現するための 5 年間の実行計画
- ・人口減少を克服し、地方創生を実現するための「神戸創生戦略」と一体的に作成

【テーマ】若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち

② 神戸創生戦略(第 2 版)(平成 28 年 3 月)

【全体目標】・年間 12,000 人の出生数維持

- ・若者の神戸市への転入増、東京圏への転出超過年間 2,500 人を解消

③ 神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン](平成 27 年 9 月)

【コンセプト】日々の刺激と物語が生まれる 美しき港町・神戸

～多文化・多世代交流 あなたが参加しているまち～

【都心の将来像を表現する 3 つの柱】

- ①心地よいデザイン
- ②出会い、イノベーション、そして文化
- ③しなやかで強いインフラ

【都心に備える 8 つの軸】

景観、にぎわい、生活・住居、産業、観光・文化、防災、環境・エネルギー、交通



それぞれの想いで 公園を楽しむ

例えば「東遊園地」のような都心にある公園や広場を、もっとたくさんの人が楽しく再活用できる場として「活性化」する。

パソコンを持ち込んで仕事をしたり、家族や仲間と遊んだり、本を読んだり、緑に囲まれた空間で、自由に楽しみ、交流できる場にする。

また、市民が自発的にイベントを考え、実践していくことで、みんなが愛着をもって楽しめる公園にしていく。

④ 三宮周辺地区の『再整備基本計画』(平成 27 年 9 月)

【目指すべき将来像】 美しき港町・神戸の玄関口”三宮”

- ① 「えき～まち空間」神戸の象徴となる新しい駅前空間
- ② 「えき～まち空間」を中心とした地区全体の魅力向上



エリアマネジメントによる特色あるまちづくり

パークマネジメントによる公園の有効活用

⑤ 「港都神戸」グランドデザイン～都心・ウォーターフロントの将来構想～(平成 23 年 3 月)

【めざす姿の全体将来像】デザイン都市・神戸を具現化するリーディングエリア「港都神戸」の創生

(2) 新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園のあり方

—国が推進する「新たな時代の都市をつくる緑とオープンスペース」としての位置づけ—

●新たな時代をつくる緑とオープンスペースの基本的考え方

緑とオープンスペースの多機能性の再認識と都市の特性に応じた発揮社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、都市基盤も一定程度整備されたステージにおいて、緑とオープンスペース政策は、緑とオープンスペースが持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために発揮すべく、そのポテンシャルを最大限発揮させるための政策へ移行すべき

●新たなステージで重視すべき観点

- ①ストック効果をより高める
- ②民との連携を加速する
- ③都市公園を一層柔軟に使いこなす

●新たなステージに向けた重点的な戦略

- ① みどりとオープンスペースによる都市のリノベーションの推進
- ② より柔軟に都市公園を使いこなすためのプランニングとマネジメント強化
- ③ 民との効果的な連携のための仕組みの充実

(3) 施設更新・課題解決の必要性

—老朽化が進む中で、時代や地域のニーズに合わせた施設の更新、再編が必要—

施設の老朽化、バリアフリーへの対応、利用動線の整理などの課題が顕在化してきている。周辺の道路改修等とも連携し、再整備を行う時期となっている。

- ①歴史：日本で最も古い歴史ある西洋風公園のひとつとしての魅力が利用者に伝えられていない
旧居留地との関係性が希薄・利用者に歴史を伝えられていない
- ②都心：都心の好立地を有効活用できていない・都心らしい賑わいや活気がない
- ③回遊：公園とまちの一体感・フラワーロードとの連続性が欠如し、公園の南北が分断している
- ④景観・空間：神戸らしい魅力、公園らしい魅力が欠如した景観（特に出入口）となっている。
細分化し閉鎖的な空間や有効活用されていない空間がある。
- ⑤施設：施設が老朽化している。モニュメント(彫刻、顕彰碑、句碑等)が混雑している。
- ⑥花みどり：都市における貴重なみどりだが、常緑樹主体で季節感が乏しい。
- ⑦利用：大規模イベント以外は利用が少ない。
- ⑧安全：見通しが悪く、死角が多い。



都心らしいにぎわいに乏しい広場



旧居留地の街並みと調和していないエントランス

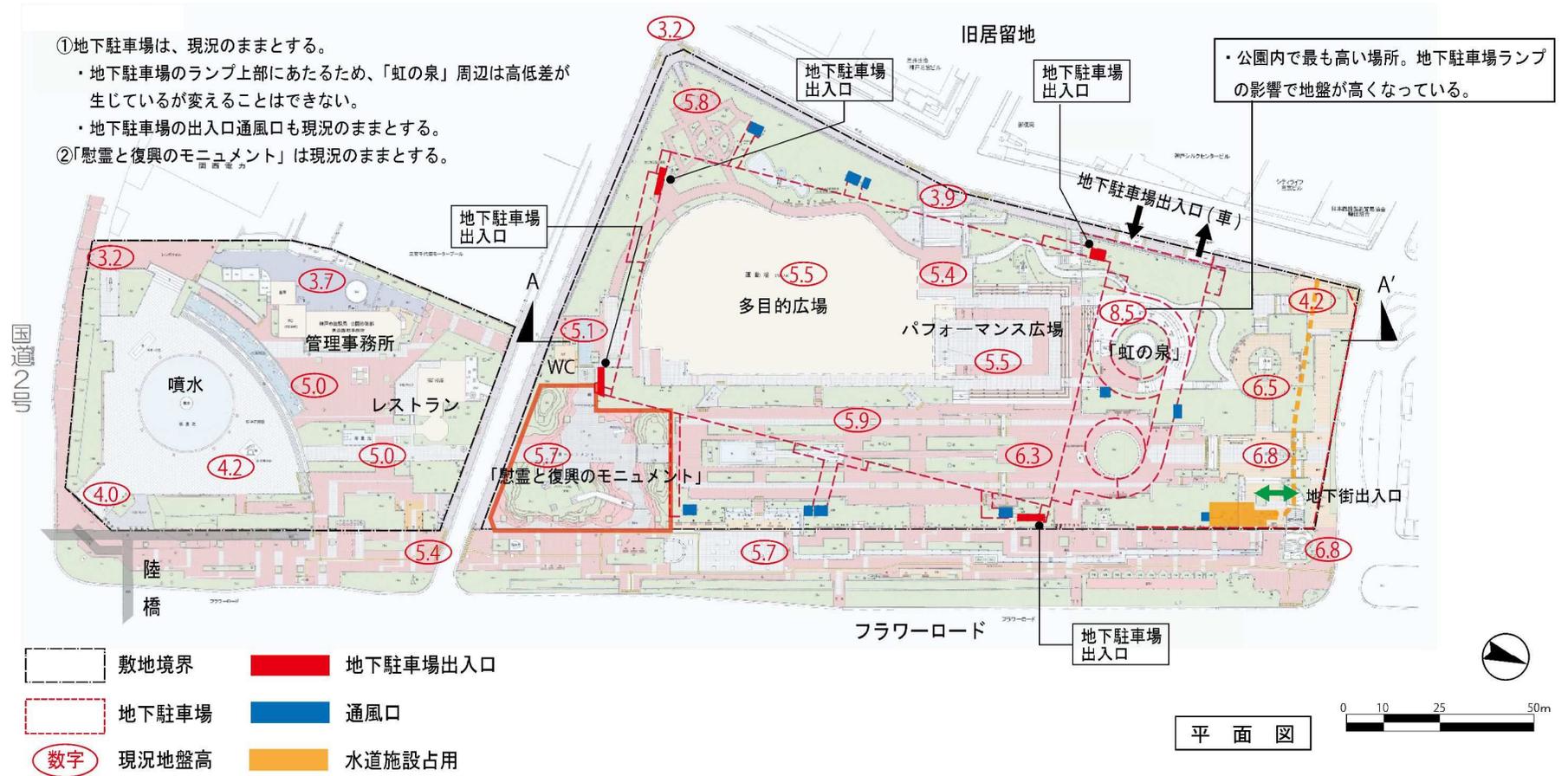


有効活用されていない広場

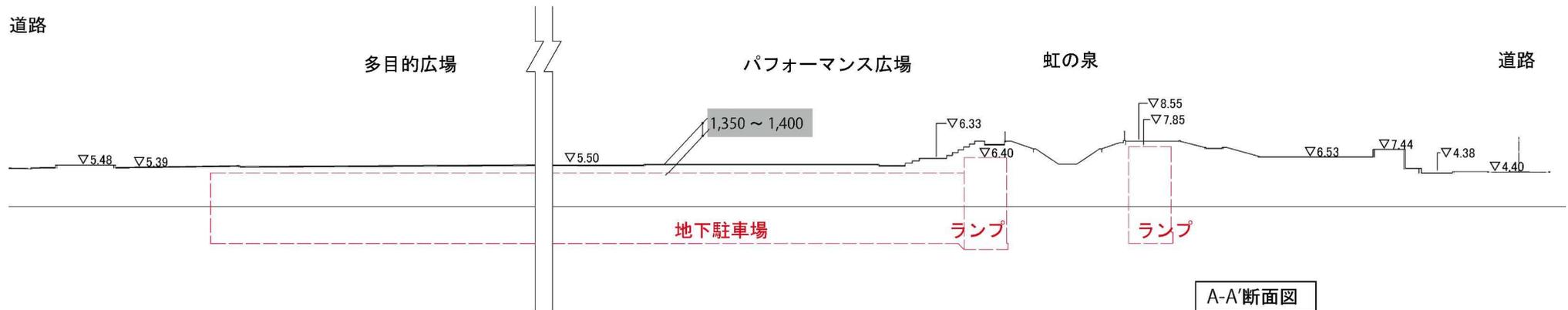
3. 条件整理

■ 構造的な条件

- ① 地下駐車場は、現況のままとする。
 - ・ 地下駐車場のランプ上部にあたるため、「虹の泉」周辺は高低差が生じているが変えることはできない。
 - ・ 地下駐車場の出入口通風口も現況のままとする。
- ② 「慰霊と復興のモニュメント」は現況のままとする。



道路



■現状と課題整理

■印…良い点、保全したい点 ■印…課題

視点	内容
①歴史	<p>【居留地と公園の歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■東遊園地は、居留地に住む外国人の求めでつくられた日本で最も古い公園のひとつである。 ■東遊園地は、外国人によって神戸にスポーツ・レクリエーションが展開され、彼らの社会貢献活動を今に伝える歴史的な場所。 ■外国人と日本人の間で調整をしながら利用されてきた大正時代を経て、戦後改修を重ね、神戸の中心の公園として多くの市民に利用され続けてきた。  <p>明治後期～大正期の東遊園地</p>
②都心	<p>【核となる空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■東遊園地は、都心の核となる貴重なオープンスペース。 ■フラワーロード沿いは、高質な植栽管理が行われており、花のまち神戸のイメージを演出している。 ■旧居留地側の入口が、フラワーロード側に比べて殺風景。 <p>【人の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フラワーロードを歩く人が市役所以南に流れない。 ■国道2号線において分断感がある。横断の歩道橋が長く公園への見通しを阻害している。  <p>フラワーロード</p>
③回遊	<p>【園路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フラワーロード沿いは、水路や彫刻、花壇などにより、楽しみながら歩けるプロムナードとなっている。 ■フラワーロードの歩道は、水路や植栽や屈曲により、歩きにくい部分がある。 ■園路が分節され、動線の連続性がない。 ■公園が旧居留地からフラワーロードへの通過動線となっている。通過動線上にバリアが多い。 ■公園の北側と南側が道路(葺合南 58 号線)により分断している。  <p>園路</p>
④景観空間	<p>【景観】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フラワーロードは、四季折々の草花や花灌木と彫刻が調和する美しい景観を呈し、市民に親しまれている。 ■慰霊と復興のモニュメントと市庁舎1号館を結ぶビスタ軸が特色ある景観を形成している。 ■市役所1号館は公園への眺望点となっている。(ルミナリエ等) ■居留地側は、擁壁や街角が殺風景。 <p>【空間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公園の北側と南側、フラワーロードと公園が分断した空間となっている。 ■公園内は、空間が細分化しており閉鎖的な空間が多い。 ■緑陰を活用した新たな賑わい空間が生れている。(FarmersMarket)  <p>フラワーロードの花壇</p>  <p>慰霊と復興のモニュメント</p>

視点	内容
⑤施設	<p>【建築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■レストランや管理事務所は、旧居留地時代の建物を模した外観で、神戸らしい景観を形成している。 ■レストラン周辺の植栽により、公園との一体性に欠ける。 <p>【モニュメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「花とみどりの彫刻」は彫刻をまちづくりに取り入れる主旨で、1960年代後半から整備された。 ■震災や歴史関連のモニュメントが多く設置されている。 ■阪神・淡路大震災慰霊と復興のモニュメントは公園の主要施設だが入口からの動線が複雑で分かりづらい。 ■モニュメントが混在しており歴史上の意義を伝えられていない。 ■「大噴水」は大きな面積を占めているが、利用者が少ない。 <p>【占用施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地下駐車場(約1,100㎡)とその付帯施設。  <p>レストラン、管理事務所</p>  <p>噴水</p>
⑥花みどり	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■樹木が立派に成長しており、都心の貴重なみどりとなっている。 ■常緑樹が多く季節感に乏しい。 <p>【旧居留地側外周植栽帯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高木(クスノキ)が成長し、旧居留地側からみどりのアイストップとなるとともに、公園利用者に緑陰を提供している。 <p>【東側の植栽帯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■メタセコイアやラクウショウの植栽帯が、特色ある景観を呈し、利用者に緑陰を提供している。 ■Farmers Marketの会場(緑陰空間)として活用されている。 <p>【フラワーロード側植栽帯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■植栽帯により公園とフラワーロードが分断している  <p>フラワーロード側植栽帯</p>
⑦利用	<p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■阪神・淡路大震災犠牲者の慰霊と鎮魂の意を込めた「ルミナリエ」「1.17の集い」が開催されている。 ・ルミナリエ(毎年12月 来場者数:3,256,000名/10日間 2015年度) ・1.17の集い(毎年1月 記帳者数:約21,100人/2016年度) ■「神戸まつり」「神戸マラソン」等のイベントが開催されている <p>【日常利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■都心の利便性良い立地にも関わらず、平日の利用者が少ない。 <p>【社会実験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■にぎわい創出に向け、芝生広場を活用した、公園の魅力を高めるプログラムが実施されている。  <p>「1.17の集い」</p>  <p>社会実験</p>
⑧安全	<p>【阪神・淡路大震災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■阪神・淡路大震災を伝えるためのモニュメントや施設がある <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■東遊園地:緊急避難場所(地震・津波・大火事) <p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フラワーロード側から公園内部への見通しが悪い ■死角が多い(北側、フラワーロード等) ■南側園地内で見通しが悪い所がある(植栽帯などによるもの)  <p>見通しが悪い空間</p>

■大規模イベント時の利用の現状

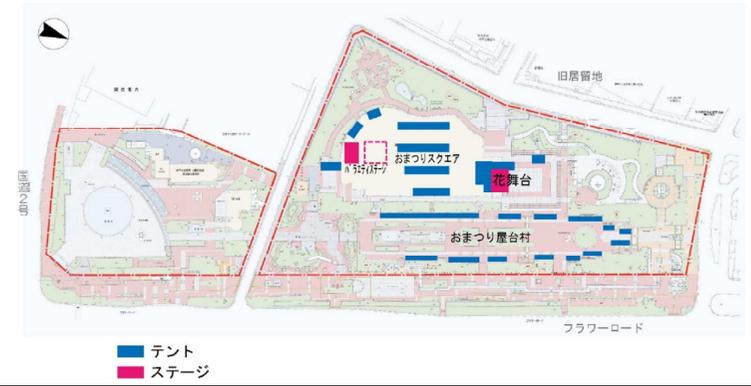
名称	神戸ルミナリエ
開催趣旨	阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と大震災の記憶を長く構成に語り継いでいくとともにまちのさらなる魅力発信と神戸地域への集客を目的に開催する。
開催期間	(2016年) 12月2日～11日 10日間
開催場所	旧居留地及び東遊園地
主催	神戸ルミナリエ組織委員会
来場者数	累計3,253,000名(10日間)

【会場設営】



名称	神戸まつり
歴史	「神戸まつり」は昭和46年に市民参加型の画期的なまつりとして誕生。「みなとの祭」と「神戸カーニバル」をルーツとし、新しい行事を増やしながら着実に市民の祭りとして定着したが、阪神・淡路大震災が発生した1995年の神戸まつりは実施できなかった。
開催期間	(2016年) 5月15日(メインフェスティバル)・14日(各区のまつり)
開催場所	メインフェスティバルは三宮・元町などの神戸の中心地で開催
主催	神戸市民祭協会
来場者数	1,502,720人(2014年度)

【会場設営】



名称	阪神淡路大震災 1.17 のつどい
開催趣旨	震災でお亡くなりになられた方を追悼するとともに、震災で培われた「きずな・支えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため、「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」を、神戸市中央区の東遊園地で行います。 引用：阪神淡路大震災 1.17 のつどい HP
開催期間	1月17日 5:00～21:00
開催場所	東遊園地
事務局	阪神淡路大震災 1.17 のつどい実行委員会事務局
記帳者数	21,100人(東遊園地)

【会場設営】



名称	神戸マラソン Kobe Marathon
テーマ	『感謝と友情』(2016年のキャッチフレーズ:「ありがとう」の42.195km)
開催期間	(2016年)11月20日
開催場所	神戸市役所前をスタートし、明石海峡大橋(県立舞子公園付近)を折り返し、ポートアイランド(市民広場付近)をフィニッシュとするコース。 (日本陸上競技連盟及びAIMS公認コース) ※東遊園地は、ランナー大会関係者エリアとして使用
主催	兵庫県/神戸市/兵庫県教育委員会/神戸市教育委員会/(一財)兵庫陸上競技協会
出走者数	19,570人(東遊園地)

【会場設営】



4. 東遊園地の歴史

■東遊園地のあゆみ

幕末の安政5年(1858年)にアメリカをはじめ5ヶ国と結んだ通商条約によって、神奈川・長崎・函館・新潟・兵庫の開港と江戸・大阪の開市等が決められ、翌年には函館・横浜・長崎が開港した。兵庫は、慶応3年(1868年)開港が実施された。開港に伴い設けられた外国人居留地は慶応4年(1869年)に竣工し、永代借地権の競売が開始された。神戸の居留地の基本的な設計を行ったのは、イギリス人土木技師ジョン・ウィリアム・ハートで、居留地内を126区画に分け、西側にパブリック・ガーデン、海岸沿いにプロムナード、東側にレクリエーション・グラウンドが計画されている。

外国人の居住開始とともに欧米のさまざまなスポーツがもたらされた。そのための公園を開設することは幕府と約束されていたが、すぐには着手されなかった。外務省・兵庫県・居留地行事局で協議が続き、明治8年(1875年)「神戸外国人居留地内に公園地取設け議定書」を締結し、正式に公園として開設された。公園は無税地とし、開設維持費用負担及び管理は居留外国人が行うとされ、「内外人公園地」と称された。

明治32年(1899年)、条約改正に伴い、全国の居留地が一斉に返還された。神戸の居留地も市域に編入され、地内の遊園は公園として残され、県知事から神戸市長に引き継がれた。以後、公園は神戸市の管理となり、神戸市条例を制定し、名称も「加納町遊園地」となった。翌年には、日本人と外国人による維持管理のための「遊園地保護委員会」が設置され、昭和16年(1941年)まで続いた。

大正11年(1922年)、神戸市告示第54号により「東遊園地」と改称された。昭和30年(1955年)、東遊園地の北側部分に神戸市役所を建設することになり、完成した。本庁舎北側には日本で最初の花時計が設置された。

昭和38年(1963年)には加納町7丁目の南部が公園に編入され、大噴水が設置された。その後昭和48年(1973年)に公園の再整備が行われ、地下駐車場が設置された。

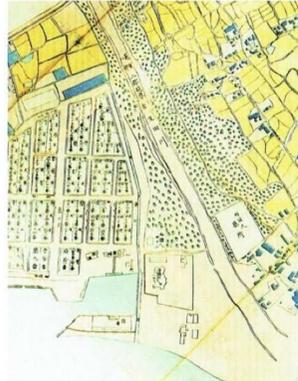
平成7年(1995年)1月17日、阪神・淡路大震災が発生、東遊園地は避難場所として使われた。同年12月、尊い犠牲者の慰霊と鎮魂、神戸の復興と再生を願って「神戸ルミナリエ」が旧居留地と東遊園地一帯で開催された。また、平成11年(1999年)には「阪神淡路大震災1.17のつどい」が開催され、竹灯笼で形作られた1.17の文字に再生ろうそくを浮かべ鎮魂の祈りが捧げられた。以後、毎年1月17日に開催されている。平成12年(2000年)には、「慰霊と復興のモニュメント」・「希望の灯り」が完成し、震災を記憶し、犠牲者を慰霊する場となっている。



神戸東遊園地
KR&ACの体育館が見える



神戸東遊園地 大正後期～昭和初期
中央奥の建物は異人館の設計を多く手がけたイギリス人建築家ハンセルによる神戸クラブの建物



地図①
兵庫神戸実測三分箇之縮図 全国の第老部 明治5年

■日本における公園のはじまり ●日本における公園の歴史に関すること ●神戸・東遊園地に関すること

1866 (慶応2年)	●初めて公園の概念を持った言葉が現れるのは、「横浜居留地改造及競馬場墓地等約書」。この条約では「遊園」(public garden)を設け、外国人と日本人の共用とすること、租税は取り立てないことが規定されている。
1867 (慶応3年)	●外国人居留地が定められる「兵庫港並大阪に於て外国人居留地を定むる取極」
1868 (明治元年)	●外国人居留地の土地の競売が開始。居留地条約「大阪兵庫外国人居留地約定書」では公園に関する規定は何もないが、後の東遊園地が公園として利用されていた記録が残っている。

■東遊園地のなりたち

1869 (明治2年)	●東遊園地の開設にあたって紛糾が生じ始める。
1870 (明治3年)	●海岸遊園の設置(居留地に出来た3つの公園のひとつ) ●神戸外国人居留地の設計を行ったJ.W.ハートの図面では、海岸遊園はPromenade、東遊園地はReserved For Recreation Groundと書かれている。 ●KR&AC設立 ●横浜/山手公園の設置
1871 (明治4年)	●生田川の付け替え工事 ●西公園の設置(居留地に出来た3つの公園のひとつ) J.W.ハートの図面ではPublic Ground
1872 (明治5年)	●東遊園地の敷地が国から居留外国人に貸与されることで紛糾が収束 ●J.W.ハートの図面で東遊園地の表記がForeign Recreation Groundとされる
1873 (明治6年)	●公園開設の太政官布告
1875 (明治8年)	●各国公使と日本側の協議が成立、「神戸外国人居留地内に公園取設け議定書」を締結。「内外人遊園地」として正式な公園に。総坪数：約9467坪(3.13ha)、造成・管理運営は居留地会議(各国領事・兵庫県知事・3名の住民代表)が行う。費用も居留地会議が負担、内外人の「共遊」、居留地会議には地租等の支払い義務なし
1876 (明治9年)	●横浜/横浜公園の設置

■東遊園地の利用の歴史

1883 (明治16年)	●居留地住民が、隣接する道路が広すぎるとして、公園に編入することを要望。協定の成立により、東遊園地が拡張された。(3.69haに)
1899 (明治32年)	●外国人居留地の返還(条約改正による)、居留地の3公園も神戸市の管理下になったが、外国人による公園の使用権を維持。 ●「加納町遊園地・海岸通り遊園地取締規定」を制定し、公園利用の調整を行った。
1900 (明治33年)	●遊園地保護委員の設置(風致の維持、外国人と日本人の利用の共生を図る)
1922 (大正11年)	●「東遊園地」に改称
1927 (昭和2年)	●毎週土曜日は外国人専用、日曜日は日本人専用、その他の日は出願順、などの調整が行われていた
1942 (昭和17年)	●太平洋戦争中、防空用軍用地として利用
1945 (昭和20年)	●進駐軍による接收、1952(昭和27年)まで
1957 (昭和32年)	●神戸市役所完成
1995 (平成7年)	●阪神淡路大震災以降、ルミナリエや1.17のつどいが開催されている
2011 (平成23年)	●国の登録記念物(名勝地関係)として登録

※出典・引用：「東遊園地と居留外国人」編集発行 神戸市教育委員会

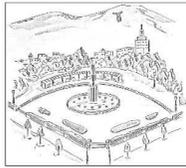
5. 公園の整備履歴

■ 1963 [昭和38年]

加納町7丁目南部を東遊園地に編入

●噴水広場の完成

三宮から税関に至る、神戸のメインストリートであるフラワーロードにさらに風情を添えるものとして建設された。構想としては、雄大さと落ち着いた風格を持たせ、ショー(見せ物)的な様態を選んだ



●噴水の改修

既設の噴水池を活かし、設備を改修して噴水の高さを17mにあげ、キャンドル、アーチ噴水を設置するとともに、水中照明の規模を大きくして修景効果を高めた

●管理事務所

レンガを用い、旧居留地時代東遊園地付近にあった神戸クラブをモチーフにした洋風建築物

●レストハウス

管理事務所と同様、レンガを用い、東遊園地付近にあったKRACをモチーフにした洋風建築物

■ 1988 [昭和63] ~ 1990 [平成2年] 再整備

新市庁舎(現1号館)の建設、地下駐車場の増設、フラワーロードの改修を機会に、『花と水と彫刻の町...神戸』を代表する都心の公園として、3年かけて再整備を行った。(総事業費10億5千万円)

■ 1973 [昭和48年]

開園100年記念事業

急速な経済成長を背景に、神戸のまちが「単に機能的であり、経済的なだけでなく、真に人間らしく健全で快適に過ごせる生活の場、ゆたかな文化創造を目指して活動できる場となること」を目標に、東遊園地の開園100年を記念して、噴水と彫刻と緑いっぱいの公園となるよう再整備を行った。(公園総事業費1億5千万)

●コミック噴水、プロムナードの整備

赤外線を設置し、来園者の通行によって水が飛び出す仕掛け。2箇所

●彫刻の設置



●地下駐車場の設置

●虹の泉の整備
地下構造は、地下駐車場のランプウェイ(円筒型空洞)を利用

広場の経緯

少なくとも昭和以降、面積や形状は変遷しているが、おそらく現在の広場の場所は、グラウンド・広場として使用されてきたものと思われる。



昭和初期



1973年の整備後

1973 [昭和48年]

●芝生広場(7,000m²)の整備

1988 [昭和63年]

●芝生の抹消(4,800m²)

■ 1981 [昭和56年]

フラワーロード花と彫刻の道整備

■ 2000 [平成12年]

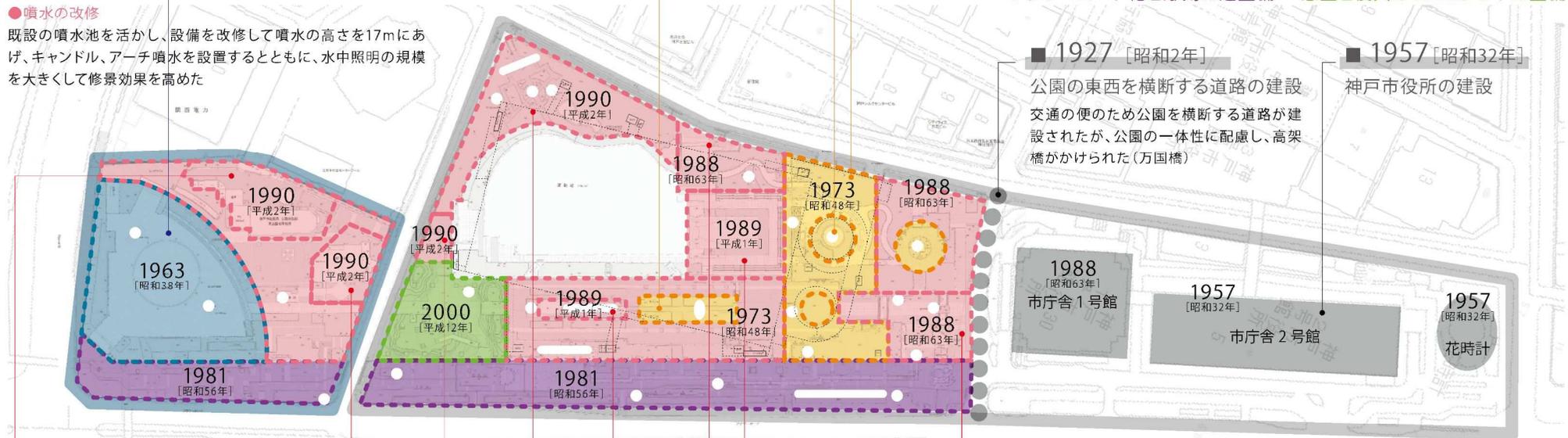
慰霊と復興のモニュメントの整備

■ 1927 [昭和2年]

公園の東西を横断する道路の建設
交通の便のため公園を横断する道路が建設されたが、公園の一体性に配慮し、高架橋がかけられた(万国橋)

■ 1957 [昭和32年]

神戸市役所の建設



●居留地ガーデン

旧居留地にゆかりのモラエス翁像、ACシム氏の碑をここに移設し、トレリス、ガス灯風照明等を設置。旧居留地のエントランスとして階段を設置

●トイレ

レンガを使用し、他の建築物との調和を図った

●噴水

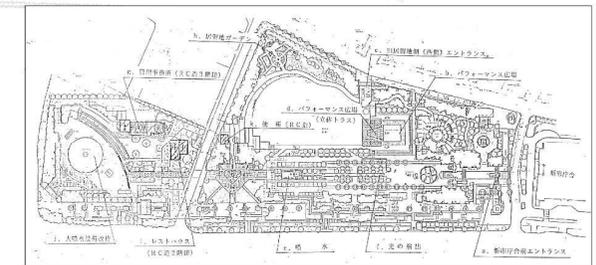
歩行者を感知して作動し、歩行の速度に併せて移動する新コミック噴水、滝、修景池の設置

●旧居留地側エントランス

●パフォーマンス広場(立体トラス)
約1000人の観覧ベンチを設置し、音楽、軽スポーツ、イベント等、様々なパフォーマンスに対応できる

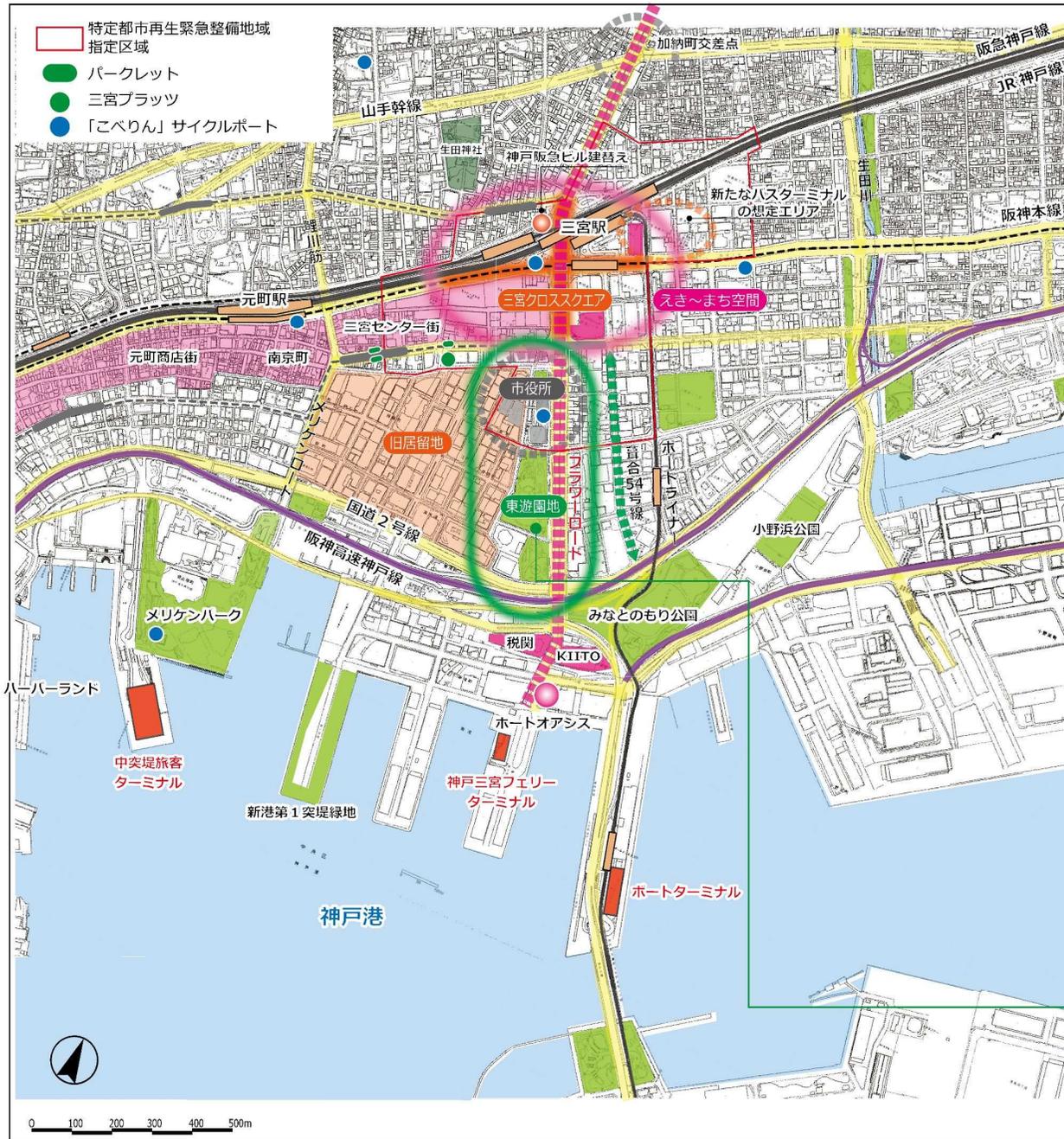
●市庁舎前エントランス

フラワーロード、新市庁舎との一体感を図り、既存の彫刻を活かしたエントランスとして整備



6. 周辺事業との連携

■ 広域



三宮周辺

■ 三宮クロススクエアの整備

- ・三宮にある6つの「えき」とその周辺の「まち」をつなぐ空間を「えき～まち空間」として、デザインにも配慮した神戸にふさわしい玄関口とする。
- ・その核として、三宮交差点を中心に、人と公共交通優先の空間『三宮クロススクエア』の整備を進める

道路のリデザイン

■ KOBEパークレットの整備(社会実験)

- ・車道の一部(停車帯)を利用・憩いや賑わい創出

■ 三宮プラッツのリニューアル

- ・三宮中央大通りに隣接する半地下空間を利用・音楽ライブ等によるにぎわいづくりや憩いの空間の創出

■ 葦合南54号線の整備

- ・歩行者が楽しみながらまちを巡ることができる様に歩道を拡幅(道路空間の再配分)ベンチや花壇等設置

■ フラワーロード『光のミュージアム』の整備

- ・フラワーロード(税関線)において、歩道や樹木、彫刻などをライトアップし魅力的な道路空間を創出

自転車

■ コミュニティサイクル「コベリン」の拡充

- ・市中心部の複数のサイクルポート(貸出、返却拠点)のシステムの利便性向上

バス

■ 新たなバスターミナルの整備

- ・中・長距離バスの乗降場集約、三宮バスターミナルとの一体運用

駅

■ 神戸阪急ビル東館建替

- 《概要》地下3階・地上29階(延床面積)約28,500㎡
- 《用途》商業施設、オフィス、ホテル等
- 《特徴》地下鉄等の連絡の円滑化・1階にイベントスペースを確保・最上階に展望フロアの設置・低層部において旧神戸阪急ビルデザインを再生

ウォーターフロント

■ メリケンパークの再整備(H28年度開園)

- ・みなと神戸の顔として、快適でにぎわいのある公園へリニューアル(芝生広場、歩行者動線改善、夜間景観の演出、スターバックスの出店)

■ 神戸ポートオアシスの建設(H29年度完成予定)

- 《概要》地上5階(延床面積)約4,600㎡
- 《施設》食堂、コンビニ、多目的スペース(400席)、事務所、会議室
- 《特徴》港で働く人や市民・来街者の多様な活動と交流の場・周辺の歴史的建造物と調和したデザイン

東遊園地のリノベーションに求められること

- 山から海・海から山へ人の流れでつなぐ
 - ・『三宮クロススクエア』とウォーターフロントを結ぶ人の流れをつくる
 - ・フラワーロードと一体的ににぎわい空間の創出
 - ・スローモビリティを主体とする‘歩いて楽しい’東遊園地境界の創出
- 山・まち・海をつなぐ結節点をつくる
 - ・交流やにぎわいを生み出すプログラム型の公園
 - ・市役所本庁舎と一体的に人を誘引する魅力づくり
 - ・市民の交流の輪を広げる拠点づくり



三宮周辺



KOBEパークレット



三宮プラッツ



葦合南54号線



フラワーロード『光のミュージアム』



「コベリン」サイクルポート



メリケンパーク



神戸ポートオアシス

■詳細



道路のリデザイン

■葦合南54号線の整備

- ・自動車交通中心の「交通機能優先の道路」から歩行者が楽しみながらまちを歩くことができるよう歩道を拡幅し、「空間機能優先の道路」へと再整備を行っている。
- ・周辺のまちの魅力を高め人々の交流を促進するとともに、都心部からウォーターフロントエリアへ誘うみちとして、新たなにぎわい空間を創出

■フラワーロード『光のミュージアム』の整備

- ・フラワーロード（税関線）において、歩道や樹木、彫刻などをライトアップし魅力的な道路空間を創出

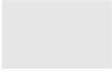
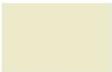
庁舎

■庁舎のあり方検討

- ・平成28年度、老朽化した神戸市役所本庁舎（2号館、3号館）のあり方に関して、専門的な見地から幅広く意見を求めることを目的として、神戸市役所本庁舎のあり方に関する懇話会を開催した。

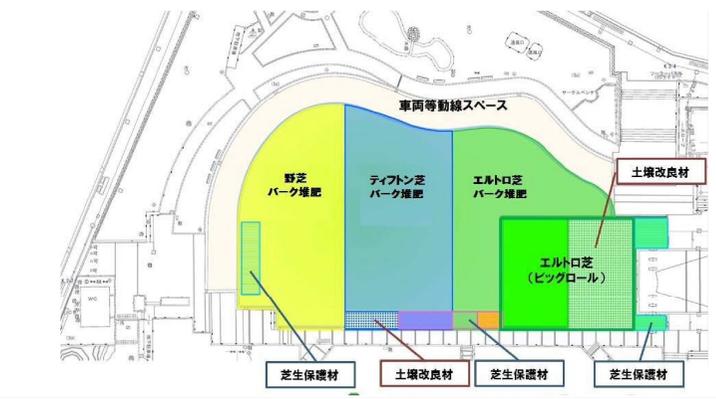
■庁舎空間見直しプロジェクト

- ・平成28年度、「神戸市役所1号館1階市民ロビーの改装設計プロポーザル」を行い、業者を決定。平成29年度完成予定。

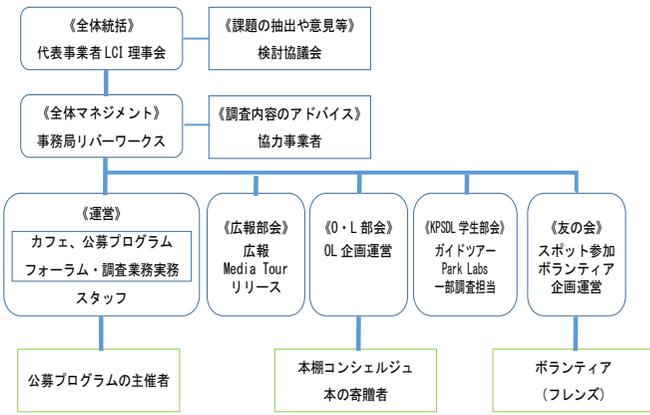
-  オフィス、商業、雑居ビル等
-  住宅
-  公共的な施設を含む建物（ホール等）
-  教育施設

7. 社会実験の結果

■ 芝生化実証実験

目的	芝の種類や芝生保護材、土壌改良材を組み合わせ、10パターン以上の実験を行い、日常的な利用や大規模イベント時における芝生の損傷具合やその後の回復の状況を検証する。 なお、一部の実験区(約500平米)では、ビッグロール工法を採用し、工期や養生期間を短縮することで、より早期(6月25日)に開放できるエリアを設ける。
位置規模	東遊園地グラウンド部 約2,500㎡ 
期間	《平成28年度》 ・5月31日 着工 ・6月20日頃 張芝工事完了 ・6月25日～ 芝生広場一部開放(約500㎡)、それ以外の区域は養生 ・7月下旬 芝生広場全面開放(約2,500㎡) ・12月2日～12月11日 「神戸ルミナリエ」開催(来場者数 累計3,253,000名)
芝生の変遷	 張芝工事の状況  張芝工事の完了時の状況  ルミナリエ開催後1週間の状況
結果(中間報告)	【芝種】・ティフトン芝の回復が最も早い。 【芝生保護材】・耐圧型保護マットを使用した芝生の根長への影響が最も少ない。 【土壌改良材】・耐圧基盤材による芝生が根長への影響が最も少ない。
今後の予定	平成29年3月に、芝生回復作業(サッチ除去、エアレーション、オーバーシード、養生シート布設)を実施し、平成29年度は、大規模イベントにより消失した芝生の回復等の調査を引き続き行う。

■ にぎわい創出事業(名称:「アーバンピクニック」)

目的	芝生化実証実験に合わせて、東遊園地のさらなる利活用の可能性を探るため、公園の魅力を高めるプログラムを展開する事業者を公募により選定し、にぎわい創出に寄与する新たなプログラムを展開していくとともに、広報PR活動や事業の評価検証についても実施する。
期間	平成28年6月25日(土)～11月6日(日) 各日11:00～19:00(土日は10:00オープン・夏季は20:00まで・荒天中止)
事業者	代表事業者 一般社団法人リバブルシティイニシアティブ 協力事業者 (株)公園マネジメント研究所 (有)リバーワークス
実施体制	
会場	東遊園地
実施内容	① アウトドアライブラリー ② 公募プログラム ③ カフェの運営・仮設構築物 Park Kitchen ④ ガイドツアー ⑤ フォーラム等の実施 ⑥ パークラボ  アウトドアライブラリー  公募プログラム  カフェの運営
事業成果	●90回以上のイベントプログラムを実施し、2,300人以上の方が参加 ・約3割以上の来園者が、芝生で過ごすことを目的として来園している。土曜日の回答では、開催中のファーマーズマーケットを目的とする来園者が多い。 ・約7割が「芝生化の継続」を望んでいる。 ・芝生化やにぎわい創出の取り組みにより9割以上が「都心のイメージがとてよくなった」「よくなった」と回答。

8. 東遊園地再整備検討委員会のまとめ 平成 28 年 6 月より合計3回の委員会を開催し、専門的な見地及び市民の立場から今後どのように再整備していくべきか意見を求めた

1. 東遊園地の歴史

- 東遊園地は、横浜の山手公園と並び日本を代表する西洋風の公園であり、かつては、西洋のスポーツや文化が融合する窓口であった。多文化が混在していた時代もふまえて検討が必要である。
- 東遊園地は、①西洋風の公園 ②震災この2点が重要である。
- 各ゾーンが整備された時点でのコンセプトやタイムラインも評価軸として必要である。



1963(昭和38)

2. 芝生化社会実験

- H27～28 年度の社会実験を通じて、市民、行政、運営している者が同じ夢を見ることができたのが一番大きな成果。公園を育てるプロセスの中で市民としての文化が育つ。
- 社会実験の結果より、「プログラム型」の公園が求められていることは明白である。
- 技術的・費用的な課題に対して、サステナブルな方法を検討しなければならない。
- 都心の緑が人々に与えた影響は大きい。今後も市民全体で取り組めると良い。改良するときに、市民の声をどれだけ反映できるかが今後の課題である。



社会実験「アーバンピクニック」

3. 事業連携

- 東遊園地を都市の核とすれば、核を中心として都市が輝くための戦略が必要である。
- 他の部局やプロジェクトとの連動性を強化することも重要である。
- 神戸市は道路のリデザインに取り組んでおり、道路の広場化を進めてようとしている。東遊園地のリデザインに際しては、道路での短期滞在、公園での長期滞在という視点から、役割分担・連携を検討すべきである。



葦台南 54 号線の整備

4. ターゲットイメージ・利用者層

- ターゲットとしては、市民が最も重要であり、次にインバウンドである。神戸市民のライフスタイルを東遊園地でどのようにつくっていけるかが最も重要な視点である。
- 神戸 2020 ビジョンのテーマは「若者に選ばれるまち」だが、どのような若者に選ばれるまちなのか、一歩踏み込んだ具体的な設定が必要である。東遊園地が、どのような関心のある人に利用される公園なのか、きめ細かに設定することが重要である。

若い世代が、生き生きと活躍できる公園	▶ 子育て中の家族
働く人をサポートする公園	▶ 都心で働くワーカー
神戸を助け、神戸を楽しみたい人々をもてなす公園	▶ 神戸の歴史・文化を愛する市民
歴史や文化に親しむ豊かな時間を提供する公園	▶ 国際観光で神戸を訪ねる外国人の若者

5. プログラム型—アクティビティの想定(季節軸・時間軸)

- 今後は、目的性をもって人が集まるようなプログラムの実施により、人が公園に来るきっかけをつくる必要がある。
- 使い方を限定された場所は少なくして良く、利用者のニーズはソフトで対応できる。
- コンセプトを実現するために、制度・仕組み、運営、収支、都心のつながり、公園のデザイン、利用者について検討しなければならないが、さらに重要なのは、時間軸や季節軸の発想である。

	冬	春	夏	秋	冬
① 公園内	● 冬祭りの開催 ● 桜の鑑賞 ● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 桜の鑑賞 ● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 秋祭りの開催	● 冬祭りの開催
② 公園外	● 冬祭りの開催 ● 桜の鑑賞 ● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 桜の鑑賞 ● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 夏祭りの開催 ● 秋祭りの開催	● 秋祭りの開催	● 冬祭りの開催

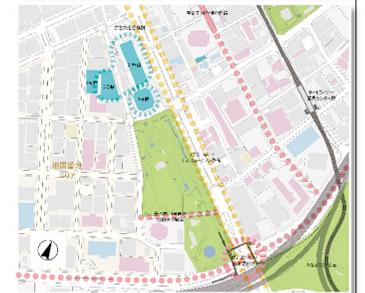
6. 広域的視点(都市計画・アーバンプランニング)

- 神戸の将来像に基づき、山から海へ楽しく歩ける街を目指し、広域的なスケールから東遊園地をとらえる。
- 三宮の南側の玄関口から、Kitto などのペイエリアへと人の流れを引っ張るためには、広域的な視点に基づく一貫したコンセプトが必要である。
- 地区公園の枠組みを超えて、三宮徒歩圏域と観光を含む視点で考えるべきである。
- 地区レベル、地域レベル、都市レベルの3つのレベルで検討しなければならない。



7. 回遊・ネットワーク

- 海までの軸、即ち広域的な視点で考えると、市役所～Kitto～突堤～波止場埠頭緑地～メリケンパーク～居留地という回遊性に対して、東遊園地はどうあるべきかを検討すべきである。
- 三宮以南のエリア、旧居留地、三宮の東を含めて、歩行者空間の視点が重要。他の公園、公開空地などとの歩行者ネットワークを含めて検討すべきである。
- コペリンや LRT 等合わせて検討が必要である。



8. 空間構成—モザイク状の空間の再構築

- 17 のモザイク状の細分化された空間は、使い方を限定し、周辺のまち・地域との一体性に欠け、魅力的な空間となっていない。多様な利用ニーズに対応できるように、大きなブロックに空間をまとめ、一体性を高めるという方向性は良い。
- 今あるものを「とる」という作業から始めて、次に設備系の評価、その後、形・ハードの検討へと進むプロセスとすべきである。
- 現在の東遊園地には、多くのモニュメントがあり、雑多となっているので、コンセプトを整理し、純化すべきである。
- 空間・構造的な視点から花時計・市庁舎を含めた範囲で検討すべきである。
- 東遊園地、市役所(2・3号館)、道路を一体としてとらえれば、さらに面白い東遊園地境界となる。



9. パークマネジメント・エリアマネジメント

- 今回の社会実験をビジネスモデル化して仕組みを議論していくことが重要である。
- プログラム型を進めるためには、制度設計、ルールの見直しや規制緩和などの制度設計が重要である。
- パークマネジメントによるサステナブルな公園を目指すのであれば、何らかのダイナミックな展開を検討しなければならない。商業施設と公園をからめた事例も参考としながら、様々な政策手法も含め議論が必要である。

10. プロセスデザイン—今後の進め方

- 今後は、公園の管理運営主体のあり方(地域、NPO 団体、市民のネットワーク、民間企業等)と、どういう公園であるべきか(デザインや配置)についての検討が密接に結びつくように進めなければならない。
- 魅力的な公園とするためには、様々な主体に関わってもらいながら、サステナブルな公園運営に対する知恵を幅広く求めなければならない。
- デザインワークショップやデザインコンペを実施するのであれば、様々な主体(民間企業等)が、東遊園地の運営にどのような形で関与できるかという意見や、東遊園地の可能性(ビジネスや事業を行うために必要な設備と投資等)について意見・アイデアを求めるべきである。
- これまで東遊園地で活動してきた方々の想いなしに、東遊園地の将来について議論はできないので、関係する方々の意向をきき、計画に反映すべきである。

9. 将来像・目標の設定

《東遊園地リノベーションプランの目標》

【目標①】歴史文化の薫りを楽しむ

■公園の歴史文化の魅力活用

- ・旧居留地との一体性・つながりを高める
- ・居留外国人と日本人の交流の歴史や多文化共生の精神を活かす
- ・モニュメント、顕彰碑等を整理・活用し 歴史を正しく伝える

■神戸開港150年の歴史文化の魅力活用

- ・人・もの・情報・文化が集まる港都の魅力を活かす



【目標②】都心の回遊性を高める

■三宮からウォーターフロントへの誘導

- ・神戸らしい高質な花と緑のプロムナードの形成
- ・フラワーロードと公園の一体性を高める
- ・フラワーロードからのアプローチ改善
- ・公園南側の魅力向上(人の流れを南へ牽引)
- ・地下街との連続性強化

■旧居留地とのネットワーク形成

- ・旧居留地からのアクセス改善

■歩行者・自転車ネットワークの形成

- ・レンタサイクル拠点の整備



【目標③】心に残る景色を創る

■‘神戸らしさ’が薫る街角の創出

- ・公園のエントランス景観の改善

■絵になる風景をつくる

- ・魅力的な夜間景観・眺望景観の創出
- ・撮影スポットの拡充

■神戸を訪れる人を花でもてなす

- ・高質な花みどり景観の創出
- ・季節を演出する花みどり景観の形成

■環境と調和する空間をつくる

- ・水、みどり、生物に溢れたロハスな空間づくり



【目標④】市民の想いで賑わいを創る

■大規模イベントの受入れ

- ・「神戸まつり」「神戸マラソン」等のイベントの開催

■市民による多様なマネジメント

- ・市民によるマネジメントを実施し、都心ににぎわいを創出する
- ・地産地消を楽しむ

■公園を育てる協働の仕組みをつくる

- ・持続可能な公園の管理運営
- ・協働のラウンドテーブル創り
- ・民間活力の導入



【目標⑤】しなやかにまちの安全・安心を高める

■震災の歴史・教訓の継承

- ・慰霊と復興のモニュメントの保全活用
- ・阪神・淡路大震災の慰霊と鎮魂のための「ルミナリエ」「1.17の集い」の開催

■地域防災力の向上

- ・緊急避難場所としての機能確保
- ・楽しみながら地域防災力を高める
- ・防災関連情報の伝達表示

■防犯対策の強化

- ・見通しの改善・死角の解消



《東遊園地の将来像》



「BE KOBE」 神戸を誇り、神戸への愛着が育つ場所 都心を美しく彩り、新しい出会いと交流が生まれる遊園

1. 人が主役の公園 ー公園が人と人をつなぐー

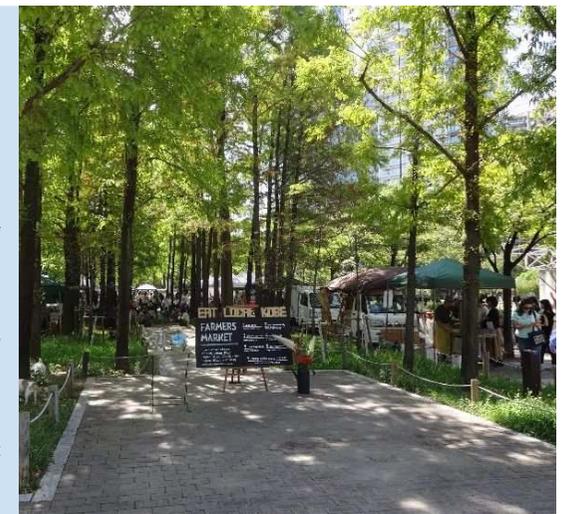
神戸の都心に新しい人の流れをつくり、新しい出会いと交流からにぎわいが生まれる公園。神戸の特色でもある「進取の気性」を活かし、若い世代のクリエイティブな発想・活躍を応援する公園。

2. ‘神戸らしさ’が光る公園 ー公園が山・海・まちをつなぐー

旧居留地の歴史や文化が感じられる公園。旧居留地の多文化共生や新たなレクリエーション創出の精神を継承し、神戸の 海・山・まちの魅力をつなぐ拠点となる公園。

3. ‘しなやかな器’となる公園 ー想いやしくみをつなぐー

市民や民間活力との連携によるマネジメントや、様々なかたちの利用を柔軟に受けとめる、持続可能な包容力のある公園。



10. 利用シーンとターゲットのイメージ想定

緑とオープンスペースのポテンシャルを、都市のため、地域のため、市民のために最大限引き出すことを重視し、都市公園を柔軟に使い、公園のあり方を変えるリノベーションを目指す

若い世代が、生き生きと活躍できる公園	働く人をサポートする公園	歴史や文化に親しむ豊かな時間を提供する公園	神戸を訪れ、神戸を楽しみたい若者をもてなす公園
<ul style="list-style-type: none"> ■ 親子で、公園の遊び、学び、創作等の体験プログラムに参加する。色々なプログラムがあるのでうれしい。 ■ 子どもは、雨天でも遊べる「プレイハウス」や芝生広場でのび遊ぶ。 ■ 芝生広場での市民プログラムに参加し、ヨガや LOHAS を楽しむ。 ■ FarmersMarket を利用し、地産地消の食材を我が家の食卓に持ち帰る。 ■ 公園のフラワーショップで花の育て方を学び、花を購入し、花のある生活を楽しむ。  <p>多様な体験プログラム</p>   <p>Farmers Market</p>  <p>神戸産の花の販売</p>  <p>芝生広場でのフラダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出社前に朝活。公園で英会話を習う。フィッティングルームで着替えて朝ランする。 ■ 利用者同士の積極的な交流や共働が生まれる。「コワーキングスペース」を利用して、公園で仕事をする。 ■ ランチは、キッチンカーで神戸の農産物を使った軽食をテイクアウトし、緑陰のテラスで食べる。 ■ ランチの後は、ピンポンで汗を流しリフレッシュする。 ■ 公園の Wifi 環境を利用して、芝生の上でミーティングをする。青空の下、新しいアイデアが生まれる。 ■ 仕事帰りにパーク Cafe で音楽とクラフトビールを楽しむ。  <p>公園でミーティング</p>  <p>緑陰でランチや休憩</p>  <p>公園でリフレッシュ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史や文化を学べる教養施設で、くつろぎながら、神戸の文化や東遊園地の歴史について知る。休日は、彼女と旧居留地の散策プログラムに参加する。 ■ 図書スペースでゆっくり読書を楽しむ。タブレット端末を利用し、芝生広場で有料レンタルした映画を楽しむ。 ■ 「街角広場」で心地よいストリートミュージック、ジャズを、夏の夜は、ナイトシアターを楽しむ ■ 公園内のモニュメント、記念碑、彫刻で歴史やアートを楽しむ。  <p>市民によるプログラム</p>  <p>アウトドアライブラリー</p>  <p>ナイトシアター</p>  <p>公園の彫刻</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園の「ツーリストインフォメーション」で仲間と集合。観光に役立つ情報を入手。ショッピングの前に休憩する。 ■ 市民プログラムの「まち歩きツアー」に参加。交流を楽しむ。 ■ 「こべりんサイクルポート」を利用して、神戸の街を快適に移動する。 ■ 彫刻や花の丘、水辺を背景に記念撮影をする。 ■ フラワーロードの夜景「光のミュージアム」を楽しみながらウオーターフロントへ移動し、ナイトクルーズを体験する。 ■ ルミナリエでは空からの(市役所展望室)眺望を観覧する。  <p>ツーリストインフォメーションのイメージ</p>  <p>こべりんの利用</p>  <p>公園での記念撮影</p>  <p>神戸ルミナリエ</p>  <p>フラワーロード『光のミュージアム』</p>
<p>ターゲットのイメージ① 子育て中の家族</p>	<p>ターゲットのイメージ② 都心で働くワーカー</p>	<p>ターゲットのイメージ③ 神戸の歴史・文化を愛する市民</p>	<p>ターゲットのイメージ④ 国際観光で神戸を訪ねる若者</p>

11. アクティビティの想定 —東遊園地の季節軸・時間軸

■東遊園地の季節軸

	冬		春					夏					秋				冬						
	1月	2月	3月	4月	5月		6月	7月		8月		9月		10月		11月		12月					
	立春	雨水	啓蛰	春分	清明	穀雨	立夏	小満	芒種	夏至	小暑	大暑	立秋	処暑	白露	秋分	寒露	霜降	立冬	小雪	大雪	冬至	小寒
① 子育て中の家族	冬休み		春休み					夏休み															
② 都心で働くワーカー			◆春までにメタボ解消講座		◆花見・新人歓迎会			◆暑気払い交流会			◆納涼パーティー		◆社員ファミリーイベント・キッズ、親子プログラム				◆忘年会						
③ 神戸の歴史・文化を愛する市民	◆公園の春花壇準備		◆春のフラワーマーケット		◆『KOBE JAZZ DAY』 ‘いいジャズをいい街で’			◆『夏の夜の夢』野外ナイトシアター ◆防災 CAMP		◆『秋のグリーンコンサート』		◆ガーデニング講座		◆アートマルシェ ◆ライブアート week ◆写生会		◆花壇でポタニカルアート		◆クリスマスコンサート					
④ 観光で神戸を訪れる若者	◆『dateKOBE』 ・公園で愛を叫ぶ ・海への散歩デート ・神戸チョコサロン		◆『春のグリーンコンサート』 ◆『O78(ゼロ・ナナ・ハチ)』 ・音楽・映画・IT イベント ◆『ホワイトディナー』		◆『みなとまつり』 ・浴衣と線香花火体験			◆クラフトビールイベント		◆『神戸花物語』 ・神戸産の花マーケット ・花職人ワークショップ ・花と洋菓子のセット販売		◆『神戸マラソン』		◆『神戸ルミナリエ』									
イベント	◆『1.17のつどい』		◆『神戸まつり』																				
維持管理 (芝生)	休眠期 冬芝		栄養成長期(発芽・成長) 更新・植付け 養生					生殖成長(開花結実) 夏芝					栄養成長期 オーバーシード 冬芝播種				休眠期 冬芝						
			4~6月頃 (冬芝)芝刈					5~6月頃 除草 7~8月頃 夏季灌水 7~9月頃 (夏芝)芝刈					9~10月頃 除草 10~11月頃 (冬芝)芝刈										

写真引用：URBAN PICNIC ホームページ (<http://urbanpicnic.jp/>)・神戸ホワイトディナーホームページ(<http://kobewhitedinner.com/>)・常陽新聞ホームページ(<https://joyonews.ne.jp/smart/>)・よこての全国線香花火大会(Facebook ページ)

	あさ					ひる					よる									
	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
① 子育て中の 家族				◆FarmersMarketで神戸の食材を 購入・ローカルを食べる ◆ヨガプログラムに参加 ◆体験プログラムに親子で参加 ・創作、観察、遊び、読書 ・ガーデニング、クッキング等 ◆子どもと芝生でのびのび遊ぶ				◆家族でお弁当 ◆公園のレストランで ランチ			◆パークCaféで ママ友とお茶を飲む ◆子どもと芝生でおやつ ◆ショッピングの途中に 公園のベンチで休憩		◆家族で夕涼み ◆ナイトマーケットの 屋台でショッピング		◆公園の 「ナイトシアター」でア ニメを楽しむ					
② 都心で働く ワーカー	通勤						昼休み					アフターファイブ								
	◆出勤前に朝活 ・ジョギングやウォーキング ・芝生でのヨガや太極拳の プログラムに参加 ・公園のベンチで英会話レッスン				◆コワーキングスペースで 仕事をする		◆木陰でランチ ◆食後のリフレッシュ ・読書・卓球 ・ハンモックで昼寝			◆パークCaféで休憩 &気分転換 ◆移動途中に携帯充電 ◆公園で情報交換や ミーティング ◆WiFiを利用してメール		◆公園のバルでリラックスタイム ◆同僚と公園のJazzコンサートを楽しむ		◆公園で彼女とデート ・「ナイトシアター」を楽しむ ◆フラワーロード 『光のミュージアム』を 眺めながら帰路につく						
③ 神戸の 歴史・文化 を愛する市民		◆ウォーターフロントまで朝 の散歩を楽しむ			◆歴史・文化プログラムに参加 ・園内彫刻ガイドツアー ・旧居留地の歴史散策 等		◆公園のレストランで 仲間とランチ		◆公園で趣味の活動をする ・写真撮影・写生 ・演奏・演劇・読書 ◆公園の育成活動に参加する ・花壇の手入れ、植え替え 等			◆ストリートミュージックやジャズを楽しむ ◆朗読会に参加する ◆パークセンターの夜学で 居留地の歴史を学ぶ ◆自分の特技を活かして市民に提供する プログラムを企画する								
④ 観光で神戸を 訪れる若者		◆ウォーターフロントまで旅 ランを楽しむ		◆公園のインフォメーション で観光情報を収集する ◆公園のWiFiを利用して 行きたいお店をチェック		◆神戸のパンや食材 を公園で楽しむ		◆パークCaféで休憩 神戸のケーキを味わう		◆「こべりん」で 旧居留地や元町、 ウォーターフロントや北野に移動 ◆花壇や彫刻の前で記念撮影 ◆公園のWiFiを利用してSNSに 写真を投稿 ◆公園で思い出づくり 体験プログラムに参加する		◆神戸のストリートミュージックとク ラフビールを楽しむ	◆市庁舎展望フロアからの 公園やまちへの夜景を楽しむ							

12. モザイク状の空間の評価 公園の長い歴史の中で改修や整備を重ね、モザイク状に細分化されている空間を分析評価する

■モザイク状の空間

《モザイク別の空間評価のまとめ》

1. 空間の細分化…全体的に、空間が細分化されており、有効活用されていない空間がある。
2. 周辺のまちや道路との分断…フラワーロードや旧居留地側の街並みとの、一体性や連続性が希薄。
3. 公園の南北が分断…北側と南側が道路により分断されている。南側が有効活用されておらず結節点としての役割を果たしていない。

16 レストランゾーン



・景観的に調和しているが、植栽の配置により公園との一体性に欠ける。

17 管理事務所ゾーン



・公園の管理施設であり、一般の利用はできない。

15 噴水広場



・かつては、海からのアプローチに対してランドマーク的な存在であったが、現在は有効活用されていない。

14 噴水北エントランス



・公園の北側と南側をつなぐ結節点であるが、入口から公園内部の様子がわかりにくい。

1 多目的広場



・神戸ルミナリエや1.17の集い等大規模イベントで利用されているが、(芝生化社会実験以前は)日常的には有効活用されていない。

10 広場南エントランス



・入口がわかりにくい。

11 居留地ガーデン



・旧居留地側の街並みに対して、閉鎖的な空間となっている。

12 ビオトープゾーン



・身近な生物の生息環境となっているが、周辺環境との一体性がない。

2 パフォーマンス広場



・通過動線となっており、多目的広場との一体性が希薄。

13 旧居留地側エントランス



・旧居留地側の街並みに対して、魅力的なエントランス景観を呈していない。

3 「虹の泉」ゾーン



・彫刻「虹の泉」が稼働しておらず、空間が有効活用されていない。

4 北西エントランス



・利用が少なく、空間が有効活用されていない。



--- 点線…物理的・視覚的な障害

● 印…モニュメント



9 慰霊と復興のモニュメント



・東遊園地の主要施設だが、入口からの動線が複雑でわかりにくい。

8 噴水・滝のゾーン



・水辺が潤いのある景観を呈しているが、フラワーロードや多目的広場との一体性に乏しい。

7 並木(ラクウショウ)のゾーン



・緑陰を活かして、Farmers Marketが開催されており、にぎわいの空間となっている。

6 円形ベンチ(ケヤキ)のゾーン



・緑陰で休養する利用者が多いが、周辺の広い空間は、通過動線となっており有効活用されていない。

5 メインエントランス(地下街出入口)



・地下街への出入口が公園内部への視線を遮っており、入口であることがわかりにくい。

市庁舎1号館

■モザイク状の空間の評価

残したいもの
— 次世代につなぎたい —

1. 『慰霊と復興のモニュメント』

・阪神・淡路大震災を記憶し、犠牲者を慰霊する空間と復興の歩みを後世に伝える。…⑨

2. 都心の豊かなみどり

・神戸の都心三宮の貴重なみどりを次世代に継承する。ただし、視線を遮り死角をつくる植栽等については見直しが必要。
…⑥⑦⑧⑨の植栽、⑩⑪⑫⑬の外周の植栽



見直したいもの

— 安全や安心の視点から見直しが必要 —

1. 公園を物理的・視覚的に分断しているボーダー

- ボーダー① まちやみちと公園がつながる部分を見直す。
・フラワーロードと公園を分断している植栽帯や構造物等
- ボーダー② 公園内の空間どうしがつながる部分を見直す。
・多目的広場(①)を分断している植栽帯
- ボーダー③ 公園の北と南がつながる部分を見直す。
・公園の南北を分断している道路(葦合58号線)

2. 閉鎖的な街角

・公園のエントランスや旧居留地に対して閉鎖的な街角を見直す
…④⑤⑩⑪⑬⑭⑮

3. ウォーターフロントへの結節点

・ウォーターフロントへの結節性を高めるため、公園の南側を見直す
…⑭⑮⑯⑰



検討したいもの

— 神戸の都心・東遊園地の未来を見据えてあり方を検討したい —

1. 広場

・市民のアウトドアリビングとして、憩いや休養、レクリエーションの他、市民による多様なプログラムが実行できる広場として、また大規模イベントや災害時の避難場所としても利用できるように、配置や規模を検討する。

2. 拠点施設

・神戸らしいにぎわいや交流を生み、市民や民間活力との連携による公園運営の核となる施設のあり方を検討する。

3. 東遊園地の歴史や文化を伝える彫刻等

・神戸や東遊園地の歴史・文化を、市民や来訪者に伝えられるように彫刻やモニュメントのあり方を検討する。



番号 モザイク状の空間

残したいもの

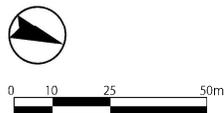
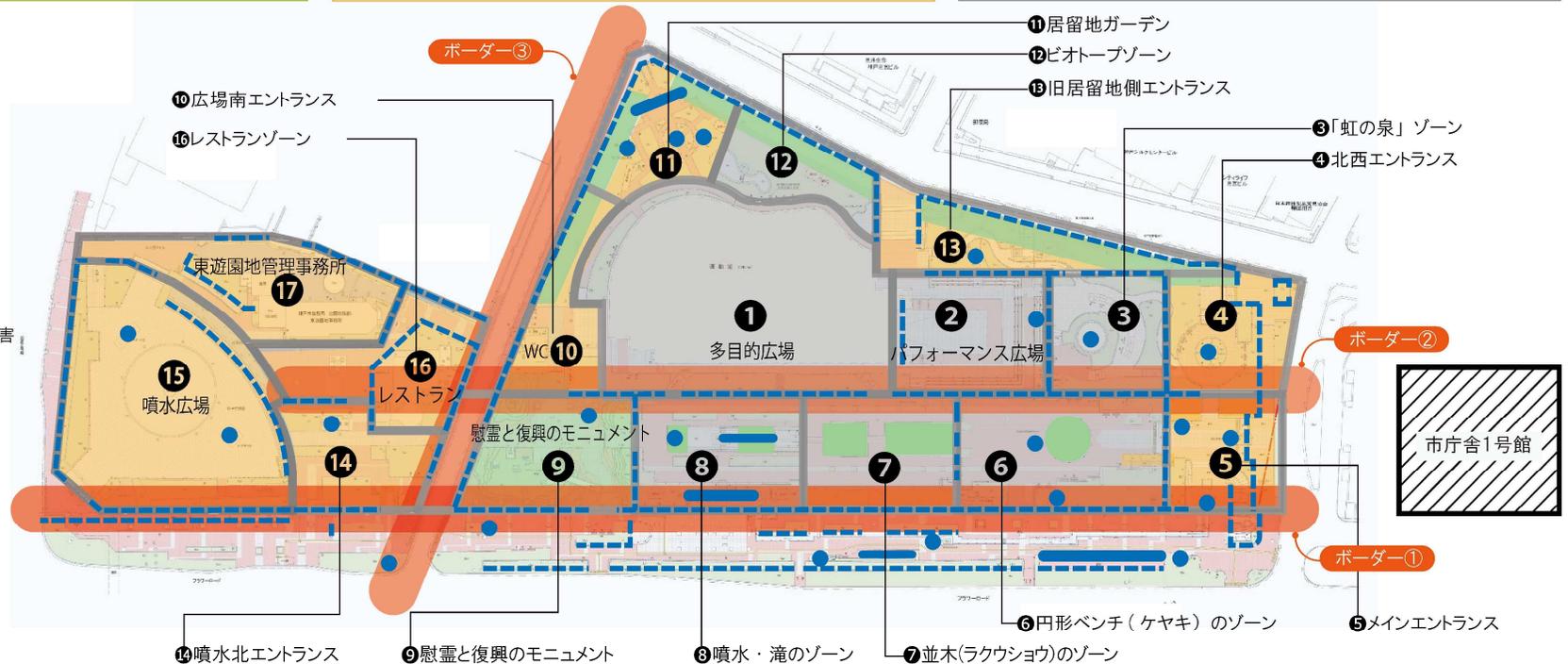
検討したいもの

見直したいもの

見直したいボーダー

点線…物理的・視覚的な障害

印…モニュメント



13. 6つのブロックの方向性 現況では17に細分化したモザイク状の空間を、一体化し、5つのブロック+(市庁舎のブロック)として、方向性や内容を検討する

